

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床工学技士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演 習
科 目 名		課題研究Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	402
担 当 教 員		専任教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
生体医工学・臨床工学から題材を選び、臨床工学の観点から研究に取り組む。研究活動を通し、実践的な統計処理、理工学的な分析力、問題解決能力を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
学科にて選考を行い評価とする							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
特になし(各班によって異なる)、必要な文献・データ							
《授業外における学習方法》							
様々な文献を調べ理解し、その理論構築などを習得する							
《履修に当たっての留意点》							
様々な文献を調べ理解し、その理論構築などを習得できるようにする							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1 ～ 7 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	論文作成指導、データ処理指導、研究活動を理解し説明できる		特になし	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理 解	
		各コマに おける 授業予定	論文作成指導 データ処理指導 研究活動				
第8 ～ 10 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	プレゼン指導、論文作成指導、論文作成指導を理解し説明できる		各班によって異なるが 必要な内 容の書籍	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理 解	
		各コマに おける 授業予定	プレゼン指導 論文作成指導 論文作成指導				
第11 ～ 15 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	テーマ選定を行い、実験ができるようになる		各班によって異なるが 必要な データ	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理 解	
		各コマに おける 授業予定	テーマ選定と仮説立案				
	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標					
		各コマに おける 授業予定					
		授業を 通じての 到達目標					
		各コマに おける 授業予定					

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	課題研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	401
担 当 教 員	専任教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
生体医工学・臨床工学から題材を選び、臨床工学の観点から研究に取り組む。研究活動を通し、実践的な統計処理、理工学的な分析力、問題解決能力を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学科にて選考を行い評価とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
特になし(各班によって異なる)、必要な文献・データ						
《授業外における学習方法》						
様々な文献を調べ理解し、その理論構築などを習得する						
《履修に当たっての留意点》						
様々な文献を調べ理解し、その理論構築などを習得できるようにする						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1 ～ 10 回	演習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿ったデータ収集とデータ分析ができる		特になし	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理解
		各コマにおける授業予定	データ収集とデータ解析			
第11 ～ 14 回	演習形式	授業を通じての到達目標	データ収集やデータ分析に基づいてプレゼンができる		各班によって異なるが 必要な内容の書籍	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理解
		各コマにおける授業予定	プレゼン作成			
第15 回	演習形式	授業を通じての到達目標	発表練習を行い修正を行う		各班によって異なるが 必要なデータ	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理解
		各コマにおける授業予定	プレゼンによるデータ修正			